



l'existence précède l'essence (実在は本質に先立つ)

◆オリンピックを見て思ったこと◆

7月23日から8月8日まで、1年延期されていた東京オリンピック2020が開催されました。コロナ禍でのオリンピックの開催には賛否両論ありましたが、いざ開催期間中となると多くの国民がテレビ中継を通して熱心に観戦したものと思います。私もその中の一人です。

私は、部活動の顧問をしており、自分自身も競技経験がある柔道競技に注目していました。日本男子チームは2012年のロンドンオリンピック後から9年間、井上康生氏が監督を務めていました。井上康生氏は2000年のシドニーオリンピックの男子-100kg級の代表としてオール一本勝ちで金メダルを獲得し、2004年のアテネオリンピックでは、日本チームの旗手を務めて「金メダル間違いなし」と思われていましたが、準々決勝で敗れてしまいました。2008年に現役引退後、柔道の指導者としての勉強をするために2年間イギリスに留学しました。今回の日本柔道男子チームを導いた井上康生氏には、監督に就任するまでにこのような経歴がありました。

日本発祥の競技である柔道の指導者としての勉強をするために、井上監督がイギリスに留学する理由を当時は理解できませんでした。しかしいま考えると、日本にとどまって日本の柔道の指導方法のみに固執しなかったからこそ、日本チームを歴史的快挙に導くことができたのかもしれない。

東京オリンピック2020での日本柔道男子チームを見て思ったことは、「自分のやり方」に固執せず、他のやり方や考え方を柔軟に取り入れるという視野の広さや柔軟性が物事を成し遂げるために大事であるということです。みなさんも視野を広げるために、全教科にわたってしっかりと学習をしたり読書をしなす。また、他の人の言うこと、特に年上の人のお話には耳を傾けましょう。若いころから、そのような姿勢や習慣を身につけることが大事を成し遂げる人間になるための重要な資質になっていくのです。

◆ 分岐点 ◆

1年生の2学期は、高校生活における重要な「分岐点」になります。そう聞くと「2年次の文理選択のことか」と思っていると思いますが、その通りです。

12月に行われる三者懇談で文理選択はほぼ確定となりますので、将来を見据えた上で慎重に判断していく必要があります。「自分はどうしたいのか」や「自分にはどんな適性があるのか」と悩む場面も多いと思います。その時には、保護者や先生などに必ず相談しましょう。それぞれの立場で親身になってアドバイスをしてくれるはず。一方で、自分の将来に関わる重要な判断ですので、責任をもって決めましょう。なにかを決めるということは「覚悟する」ということです。

「将来に向けて覚悟を決める」 ー1年生の2学期は、大事な時期になりますね。

◆9月の予定◆

日	曜	行 事	備考
1	水	分散登校	
2	木		
3	金	進路講演会(オンライン)	
4	土	断 水	
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	第2回定期試験	
14	火	第2回定期試験	
15	水	第2回定期試験	
16	木	第2回定期試験	
17	金		
18	土	土曜学習会	
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火		
22	水		
23	木	秋分の日	
24	金		
25	土	土曜学習会 医療の集い	
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木	大掃除	

◆保護者の皆様へ◆

感染症が急拡大しています。本校でも山梨県教育委員会の通知に基づいて分散登校など適切に対応をしています。ご理解とご協力をお願い致します。